

第2章 望ましい将来像と基本方針

1 望ましい将来像

千曲市の将来がどうあるべきか、理想と考えられる環境像として、『望ましい将来像』を次のように定めました。

清らかな千曲川のほとり、豊かな緑があふれ、
だれもが心の豊かさを感じられる、ふるさと千曲市

千曲市のシンボルともいえる千曲川、そしてその支流を抱く山々や田畑といった恵み豊かな自然は、市民にとって、かけがえのないふるさとの原風景です。先人たちによって受け継がれてきた文化や歴史もまた、私たちが自然とともに共生しながら育んできた宝物です。このかけがえのない豊かな環境を、将来の世代にも伝えたい・・・との願いをこめて、『望ましい将来像』の実現を目指します。

2 基本方針

上記にあげた本市の『望ましい将来像』を実現するため、5つの基本方針を次のように定めました。この基本方針のもと、具体的な施策や事業を展開します。

基本方針 1 市民みんなが主役のまち

今日の環境問題を解決していくためには、市民一人ひとりがふだんの日常生活や事業活動を見直す必要があります。そこで、市民が参加しやすく、市民の声を活かすことのできる、しくみや場などをつくります。



基本方針2 自然豊かなふるさと

市の中央部を流れる千曲川、その支流の源となる里山、農耕地内を流れる小川など、豊かな自然に恵まれています。これらの自然は多くの生き物を育み、私たちにも多くの恵みを与えてくれます。この豊かな自然を将来に伝えるための施策やしぐみなどをつくります。

基本方針3 「もったいない」を大切にすくらし

ものがあふれ、廃棄物があふれている時代に、本当に大切なものは何かを改めて考え直し、地球にとって、身近な環境にとって、無駄のない生活（再利用のできるものの仕分けなど）を実践していくことで、環境への負荷を減らしていきます。



基本方針4 地球を大切にすくらし、安全で安心なまち

私たちの日常生活や事業活動は、大気汚染や有害化学物質による汚染から、地球温暖化など、さまざまな環境問題につながっています。健康で安心して生活できる環境を保全するための施策やしぐみなどをつくります。

基本方針5 豊かな心をはぐくむ環境学習



環境について行動を起こすためには、まず「知る」こと、「体験する」こと、「感じる」ことが大きな一歩となります。年代にとらわれず、市民だれもが環境について学べる拠点やしぐみをつくることで、環境に理解のある市民を育てます。